

議員全員協議会

日 時	令和 4 年 8 月 17 日（水） 閉会中	8 時 53 分 開会 10 時 43 分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 植田博巳 副議長 15 番 村田博英	
	1 番 石山和生	2 番 谷口恵世 3 番 絹村智昭
	4 番 名波和昌	5 番 加藤 彰 6 番 木村正利
	7 番 松下定弘	8 番 種茂和男 9 番 濱崎一輝
	10 番 原口康之	11 番 大井俊彦 12 番 太田佳晴
	13 番 中野康子	14 番 大石和央
欠席議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監、健康推進部長、秘書政策課長、危機管理課長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

それでは、ちょっと時間は早いですけれども、ただいまから議員全員協議会を開催いたします。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

最初に市長報告ということで、よろしくお願ひいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、おはようございます。このたびの私をはじめ、職員を含む関係者のコロナ感染につきましては、多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを、心からおわびを申し上げますとともに、深く反省をするものでございます。

今後は危機管理意識を肝に銘じまして、感染防止対策、経済対策等に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

よろしくお願ひいたします。

それでは、着座をさせていただきます。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今の市長の報告に対して、本当に大事なことだと思うんです。今、市長が言われたように、市の危機管理上。ですから、それぞれの議員がやはり確認したいことがあると思いますので、これは別口で、今から質問を受け付けたほうが私はいいかと思うんですけれども、どうでしょうか。

○議長（植田博巳君）

今、太田議員から発言がございましたけど、今のコロナ感染について、ご意見をお聞きして、皆さんよろしいでしょうか。

[「異議なし」と言う者あり]

それでは、いいということですので、市長も今の件について、議員の方から聞きたいことがあるということですので、この件について、最初に。

私のほうから言えということですか。

○12番（太田佳晴君）

皆さんに問いかけて確認したほうがいいじゃないですかということですか。

○議長（植田博巳君）

では、確認させていただきます。

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

ちょっと市長、確認させてください。

この例の懇親会の出席者ということで、先日、副市長のほうから13人の出席者ということで、ご説明がありましたけれども、報道によると14人だということなんですけれども、そのどちらが正しいのかということで、その一点を確認。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

報道につきましては14人という報告でございますが、正確には13人。副市長が答弁させていただいたとおりでございます。

○議長（植田博巳君）

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

それでは、副市長のご説明のとおり、13人ということでよろしいですね。

もう一点ですけれども、今回の懇親会の件ですけれども、議会側としては、8月1日から3日までの間、総務建設委員会、また文教厚生委員会の視察を予定しておりましたけれども、こういう時期が時期ということで、安全安心ということも含めて、両委員会とも欠席対応、欠席というか中止をしたところがございますけれども、そうした中で、市のほうとしては、そういう懇親会をやられたということなんですけれども、議会側としても、少しそういう意味で、ましてや市長、副市長が同席されたということも聞いておりますけれども、危機管理意識という面で市長のお考えを少し聞かせていただきたいというふうに思います。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それぞれの団体といいますか、いろいろな関係者の中で、いろいろなことをやるかやらないかという判断を、それぞれの中で、今いわゆる措置法の中での様々な制限はございませんので、そういう中で判断をすべきものというふうに捉えております。

そうした中で、今回私どもが行ったこの懇親でございますが、これは当日、高台開発は今非常に一つの節目、山場を迎えています。そういった中で、それぞれの中部組合、そして牧之原市、そして業務代行予定者も含めて、大きな方針を確認する、そうした会議を設けました。その後も、まだまだ会議は長時間にわたっていますし、6時を回るというような状況でございますので、やはり今後の事業を進めていく上においての情報共有でありますとか、いろいろな今後のことにつきまして、事業を進めるにおいて、関係者の意思統一や相互理解、情報共有を行う場として、私

としては必要なものと判断をして開催をさせていただいたわけでございます。

○議長（植田博巳君）

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

その趣旨等々につきましては、分かりました。

ただ、こういう時期が時期ですから、トップ、市長と副市長が同席されるということは少し、市長、副市長同時に、もしですが最悪の場合、感染した場合、組織的なダメージもかなり大きくなるということも予想されますので、その辺の危機管理意識というものを、ぜひ今後、対応をお願いしたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

その件につきましては、先日の委員会報告の中でも副市長からも答弁があったと思いますが、私としても、そういったリスクのこと、危機管理のことを踏まえますと、今そうしたマニュアル等はございませんけれども、そうしたマニュアルづくりをさせていただく。そして、両方どうしても出なくてはならないものも当然ございますし、リスクを考えて、どちらか片方ということも、事前にある程度マニュアルをつくって対応していきたいというふうに思っていますので、その点については、これからしっかりとマニュアルづくりをさせていただきたいというふうに思っています。

○議長（植田博巳君）

よろしいですか。

名波議員。

○4番（名波和昌君）

報道発表の件について一点確認なんですけど、直接私はテレビの報道を見ていないので何とも言えないところもあるんですけど、友人から、牧之原市の議員も同席していたというようなことで、自分のところにいろいろな友人から電話が入ってきたんですね。そういうことがあったということは、報道発表に市議会議員が同席していたというようなことが言われたのかなというところがあって、その点について教えていただきたいんですけど。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も報道に関しては、ヤフーの記事を見させていただきましたけれども、その中には一言も議員という言葉は入っていませんし、報道の中でも言われていないというふうに確認をしております。

私どもの情報交流課あるいは秘書課のほうで報道対応されたと思うので、それについても、市

議会議員さんが同席してるかという事実はございませんし、無論、報道等への提供はしていないものというふうに思っております。

○議長（植田博巳君）

名波議員。

○4番（名波和昌君）

分かりました。やっぱり報道は、ネットを通じて非常に拡散していく速度が速いと思いますので、ぜひ、テレビ、新聞を含めて、報道については慎重な内容確認、それから発表ということ、また引き続き心がけていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

当日も、報道発表の原案、これについては私も確認した上で、本当にシンプルな形で公表させていただいたつもりでございます。

市議会議員の皆さんに対しましても、議会事務局を通じてこの情報を、同様の内容を周知させていただいたということでございますので、そういう中で、いろいろな情報が錯綜するということもございますので、正しい情報をしっかりと発信し続けるということが重要ですので、今後のことに関しまして、そういったことがあったということも踏まえて、対策を強化したいというふうに思います。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

先ほどの危機管理の件でちょっとお聞きいたしたいと思います。

市長、副市長、あるいは教育長、3人が例えば線状降水帯のように、今回東北のほうで大変大きな被害がありました。ああいったときに、いろいろな形で3人が一緒にいなくても、それぞれの仕事で他県へ行ってたとかといったときに、誰がそのときの対策本部の指令を出されるのか。3.11のときにトップとトップツーが国内にいなかったということで、あのような震災のような形になったということも言われている中で、そのようなときにはどのような形になるのでしょうか。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

序列があると思いますので、私が思っていることを言って、もし違うといけないので、危機管理のほうから、その序列について。

○議長（植田博巳君）

危機管理課長。

○危機管理課長（森田克彦君）

今ご質問がございました、3人の皆様がもし別にいた場合ということで、トップは市長になっておるんですが、その次の序列でいくと副市長。そこに必ず危機管理監がつきますので、教育長は基本的には序列の中では、市長、副市長がいて、そこには必ず危機管理監がつくと。二人がいない場合は教育長がつくという形で対応します。

三役がもしいらっしゃらない場合につきましては、危機管理監と、あとはそれぞれの本部長、全部長が本部員になっておりますので、それらで対応すると。

今の時代ですと、うちのほうも媒体を持っていますので、今回の雨のときもそうなんですが、市長、副市長には全ての情報を共有できるように、常に同じ情報をお送りするという形で体制は組んでおります。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

その序列なんかはよく分かりました。やっぱり危機管理監が主になって、そういったときには対応するというごことばでございますが、今回、危機管理監は4月から当市へおいでくださった。まだ一度も大きな災害の本部を立てたことはないというふうに感じています。そういった中で、やはりやれということではないですけども、前の危機管理監の鈴木さんとか、それから昨年までいらした方は、自転車で各地域を回ったり、車で回ったりして地域の人にお話を伺い、崩れたところはどれくらいの災害があったのかというようなことも聞いている。そして、市民の私たちのところもその方たちが見えたのか、そういった自転車で走って聞かれたよという話も伺っている中で、やはり危機管理に対する思いというのは、やはりすごくそういった自分の中で確かめて、市民の皆さんに安心安全をしっかりとやっているというのかな、そういった姿勢を見せてほしいなという思いがいたします。

決して、今の危機管理監がそういったことをしていないとは全然思っていないんですけども何となく、私たちの中で見えてくるものがないものですから、ぜひ、今後とも市民の皆さんの安全のためにも、しっかりとした対応を取っていただきたいなという思いで話させていただきました。

○議長（植田博巳君）

副市長。

○副市長（大石勝彦君）

危機管理監は、確かにまだ活躍する場といたしますか、そういった機会がないのは幸いなことではあるんですけども、ふだんから危機管理に対して、危機管理の事務方のトップとして活躍していただけるように、私からも話をしていきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

幾つか確認させていただきたいと思います。

先ほど、大井議員のほうから13人という副市長の報告とテレビの報道で14人、これについて市長は、正確には13人だということなんですけど、何で14人というものが報道へ出たのか、それがちょっと疑問なんです。そこを少し。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私は、その取材を受けていませんので、なぜ14人なのかというのは分かりませんが、恐らく人数把握を担当した職員が、13人、14人というのをしっかり認識していない中で、だろうというようなことじゃないかなと思うんですが、だろうという返事では申し訳ないので、担当の課長のほうから答弁させます。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

報道から何人なのかという問合せをいただいて、その際、秘書政策課では、その時点では、市が5人で事業者が5人、地元が4人の14人という認識を持っていました。ですから、私が直接応答対応したわけではないんですが、秘書系のほうで対応する際、14人という数字が出たかもしれません。ただ、正確な人数としては13人ということで、その後、確認をしております。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

分かりました。ただ、単なるミスでそういう数字が出たとも思いません。そんな、何百人、何十人の話ではなくて、13人、14人の話ですから、それについてはそんなに細かく聞きません。ただ、正確なものはしっかり把握していただきたい。それで、正確な情報を発信してもらいたい。

それと、1月に静岡の市長が、やはりコロナに感染して、そのときの対応として、副市長が記者会見で、当日は都内の東京事務所や企業を訪れて、その帰りにアルコールを伴う飲食を行ったと、こういうふうには正確な情報提供、記者会見をやっています。それを聞いて、当然市民からいろいろな指摘、また非難も受けるでしょう。でも、今回のこの牧之原市の対応を見ていると、先ほど市長が、シンプルな形で正しい情報を発信したと言いますが、やはり実際にはいろいろな形で情報が出て、インターネットの情報を見ると、かなり炎上に近いような情報が出ております。

今回、なぜそういったことをしっかりと報道提供しなかったのか、そこを確認をお願いします。

○議長（植田博巳君）

副市長。

○副市長（大石勝彦君）

報道につきましては、1月の状況と、この8月の状況では全然状況が違っておりました、例えば県議会においても、議員の中で誰かがコロナに感染したということで、発表はしますけれども、既に例えば保健所につきましては、積極的疫学調査は既に行っていないというようなことで、1月の状況から全然状況が変わっておりますので、今の段階では事実をあるがままに提供するというので、先ほど市長から申し上げたとおり、シンプルな形で報道に提供したというのが実態であります。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

7月15日付で新型コロナウイルス感染症に関する市長メッセージということで、市民向けにメッセージを送っております。その中で、今回、県内でも過去最多の感染者が確認される中で、警戒を強化するレベルに引き上げられていると、県では。そういった中で、市民の皆様には基本的な感染防止対策の徹底をお願いしますということで、市長名で出しているんです。それを今、副市長が言われたように、1月のときは確かに行動制限はされておられません、今回は。ですから、我々議会も8月1日、2日、3日と、全員それぞれの委員会が大事な視察を計画していたんですけれども、自粛したんです。それは、市長がこういうメッセージに基づいて、もしものことがあったとき説明ができないということなんです。

だから私、今の副市長の説明って、本当にこういったメッセージも無視した、今の立場の、言い方は悪いですけれど、独りよがりの説明にしか聞こえないんです。だから、大事なことは、やはりその事実はしっかり伝えて、非難は非難で受ける。それで、そのときの責任はしっかり取る、そこから組織が再スタートしないと、都合の悪いようなことをそういう理由に任せて報道しないで、かたやインターネットでばんばん流されて、我々議員も先ほど言われたように、議員も一緒に飲んでいたんじゃないかと、私も言われました、確かに。かなりの人数の議員の皆さんが言われていると思うんです。

そういった意味でいくと、相当皆さん、市民をはじめ、我々も職員の皆さんも、いろいろな負担を強いられていると思うんです。だから、その辺の考え方を、それは全ては市長だと思うんです。市長の考えに基づいて組織は副市長もはじめ、職員の皆さんも市長の言っていることに反しないような説明をするしかないんです。だから、そこを市長、しっかり副市長もはじめ、職員の皆さんに指示を出してもらいたいと思うんですけど、どうでしょうか。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

ご指摘は十分、分かります。報道発表につきましては、各社から問合せがあった中で、秘書課のほうの判断で、先ほど言ったような関係者との懇親の場があったということは公開しておりますので、そうした形で公開させていただいているということと、それからもう一つは、冒頭、

大井議員のご質問にもお答えをさせていただきましたけれども、この感染拡大している中でのこうした行為でありますけれども、今の状況、先ほど副市長が1月の状況、それから今の市の置かれている状況ということに関してお話をされましたけれども、たしか1月27日から3月中下旬まで、まん延防止等の措置が措置法の中で出されていまして。そういった状況の中ということと、それから現在はいわゆる措置法におけるまん延防止措置、あるいは第24条第9項の飲食等の人数制限、そういったものを一切、措置法による制限をされていないという状況なんですね。そういう中で、国においても県においても、感染防止を心がけてくださいよということは当然語っていますけれども、そういう中で、コロナ禍と共存する社会を築いて経済活動を意識しながら、コロナ禍前の平時のように移行を目指すということで、国も県も方針を示されております。私もそういった方針に基づいて、これまでもいろいろな組織からお招きをいただいたりしていますけれども、そういった意味で、私は参加をさせていただき、その中で感染防止も取り組んできたわけですが、結果として感染をしたということでございますので、それにつきましては、冒頭ご挨拶をさせていただいたとおり、本当に申し訳ないというふうに思っていますし、これから危機管理のことも含めて、再度、そうしたマニュアル等も含めて考え方をしっかり是正しなくてはならないというふうに思っております。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

ここ数日、三日ほど前ですか、市内で100人の感染者が出たという報道発表がありました。これはかつてない、びっくりするような数字だし、毎日30人、40人というのが当たり前のようになっている。そういった中で、今回、行動制限もないし、1月とかそれ以降の当時とは全く国の考え方、状況が変わっているとはいえ、やはり市民の皆さんはみんな気をつけていると思うんです。我々もやはり、議員の皆さんもそうだと思うんですけれども、ほとんど、このお盆暑いので多少まちへ出たいというようなことも抑えて多分されているときに、本当にこれからの危機管理について、我慢するときはしっかり我慢してもらいたいし、トップである以上、市を代表していますので、それはいろいろな不合理な中傷も受けなければならないと思うんですけれども、我々議員も同じことで、やはりそれはしっかり危機管理を改めないで、職員の皆さんに対しての示しという部分が見つからないと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（植田博巳君）

副議長。

○15番（村田博英君）

コロナの話なので、ちょっとお聞きしたいことがありますので、ここ二、三日の報道で、5類に移すということが報道されております。

我々議員も、いつになるかは分かりませんので、早いところ5類にならないかなということ、報道待ちといいますか、英断を待っているわけですが、その辺の事情、状況を教えていただきました

いんですが。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

少し前から、5類に感染症の区分を変えたらどうかということは、いろいろ意見があるわけなんですけれども、今、まだ治療薬ができていないという状況があります。今のこの感染状況のこのままで検査も全てやらなくなってくるということは、さらに感染が広まるということと、やはり高齢者の方は以前のデルタに比べて弱毒化も、収まってはきているという状況の中ではありません。でも、これだけ感染が広まれば、一日に200人、300の方が亡くなっていくということの状況を考えると、国の審議会もかなりその部分を議論しているところだとは思いますが、すぐに5類に落とすということが進んでいくかどうかということは、まだ私たちも報道を見ながらいろいろ情報収集していますけれども、先がまだ見通せない状況ではないかなというふうには感じております。

国のほうの専門家の審議会が議論が進んで、全数調査もしなくてもよい、5類に落としてもよいという状況になれば、またそこに合わせて受診の仕方ですとか、検査の仕方、そういったことも変わってくるのではないかなというふうに感じております。

○議長（植田博巳君）

副委員長。

○15番（村田博英君）

新聞では、8月に保健所に届けなくてもいいという形の体制を整えたいというふうに記載しておりました。オミクロン株について、毒性が非常に弱いので、厳しい濃厚接触者が5日、それからかかったら10日というようなことの管理は必要ではなくなるのではないかと報道が載っていましたので、ぜひ、100人も出ますと、うちにも孫がおりますが、どこでどういうふうに移ってくるか分からないので、休まなきゃいけないんですね。そうすると、家庭内の機能が崩壊するというか、どこも出られなくなってしまうので、そここのところできるだけ、政府も関係医療者も危惧しているんじゃないかと思えますね。榛原医師会もそれに従っているんじゃないかと思えますので、ぜひ、そういう情報を早く流していただきたいと思えます。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

情報が入れば、速やかに市としましても、いろいろな検査体制ですとか、受診の体制ですとか、そういったことは市民の皆さんにお伝えできるような内容があれば、速やかに流していきたいなというふうに思っております。

これは一自治体で決められることではありませんので、きちんと情報収集しながら、正確な情報をきちんと流すということに努めてまいりたいと思えます。

○議長（植田博巳君）

副議長。

○15番（村田博英君）

これで最後にしますが、要するに報道、日経とか大手の新聞に載っているわけですから、この自治体が決められないというのは分かりますが、情報は県なり何なり問合せをして、そういう報道より同じか、少しでも早く情報を入れてください。決められないことは分かっています。そうしないと、先手を打たないと、いつまでもびくびくびくびくしているばかりではいけないと思うので、ぜひ、よろしくお願いします。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

これまでも、いろいろな情報が報道で流れ、国の情報が入ってきたりという中で、必ずしも報道の情報が全て正確というわけではないということが度々ありましたので、間違った情報は市民の皆さんにお伝えするという事は、かえって混乱がありますので、正しいものをきちんと伝えていきたいと思っておりますので、こちら県とは連絡を取りあって、分からないことは確認をしてということ、日々行っておりますので、引き続きそういった形で情報収集していきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

正しい情報を速やかに提供していただきますよう、お願いいたします。

それから、私からもお願いいたしますけれども、市という重要な組織の中でありますので、市長から答弁ありましたとおり、危機管理意識を持って、おっしゃるとおり、これからも遂行していただきたいなというふうに思っております。

この件については、よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

市長、すみません、その後続きを。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、本日、4件ほどの報告案件がございますので、一つずつ報告をさせていただきます。

まず、台風8号の対応状況についてであります。13日、土曜日、17時頃、静岡県伊豆半島に上陸した台風8号の対応については、13日に台風接近前の8時30分に、市内4か所、榛原文化センター、坂部区民センター、相良保健センター、地頭方の原子力防災センター、ジーボに避難所を開設いたしまして、8世帯8名の方が避難をされまして、15時30分、避難者全員の帰宅後に避難所の閉鎖を行ったものであります。

このほか、神寄自主防災会避難所に1世帯2名が避難をいたしました。

14日、日曜日につきましては、午前5時に当市に土砂災害警戒情報が発令されたことに伴いま

して、速やかに避難所開設ができる体制を整え、土砂災害の警戒情報が解除された正午までの間、職員待機にて配備体制を整えたという状況でございます。

今回の台風による市内への被害状況につきましては、波津市内における道路冠水1件、準用河川東沢川の小規模護岸崩落1件、片浜地内における畑の崩土1件のほか、地頭方地域における停電発生がございました。

今回の台風においては、13日、14日ともに波津地域で6時から時間雨量39ミリを観測いたしましたが、総雨量といたしましては、当初の予報よりも少なく、大きな災害発生につながらず安堵しているものであります。

これから台風の季節がやってきますので、引き続き万全の防災体制を整えて対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして2点目でございますが、静岡消防局の火災事故についてであります。8月13日、土曜日、21時50分に発生いたしました静岡市葵区呉服町のビル火災についてでございますが、既に新聞等で報道がありましたが、火災出動した静岡市消防局駿河消防署駿河特別高度救助隊の消防指令補、山本将光さん37歳が行方不明、8月16日現在でございますが、公式報道ではこういう報道がされておりますが、なっております。

山本さんは、本年3月まで牧之原市消防署に3年間勤務されており、本年度の異動によりまして、駿河消防署勤務となりました。

火災の経緯と対応についてでございますが、静岡市消防局からの報告であります。8月13日、21時50分に火災の覚知、入電がありまして、21時55分、出動指令、そして59分に先着隊が到着いたしました。22時05分に当該隊が到着。同50分に当該隊が屋内侵入、そして23時03分、隊員の行方不明を確認したと。

そして、14日、午前2時24分、心肺停止状態の1名を発見したと。そして、午前3時16分、鎮火という報告を受けております。

火災原因や隊員が行方不明となった原因等につきましては、現在調査が行われておりまして、今後、静岡市消防局長から説明、静岡地域消防運営協議会で報告を受けるということになっておりますので、また詳細が分かりましたら、お知らせをさせていただきたいと思っております。

次に3点目でございますが、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの無償配布についてであります。

静岡県は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴います、発熱等の診療医療機関の逼迫状況を解消することを目的といたしまして、一定要件に該当する軽症者が医療機関を受診することなく、県への登録によりまして、自主療養する自己検査支援事業を開始いたしました。

これを受けまして、牧之原市では、発熱や風邪症状など、軽度の症状がある18歳以上40歳未満の方で、基礎疾患がなく、妊娠していない等の要件に該当する人に、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの配布を開始いたしました。

ご利用いただくためには、事前申込みが必要でございまして、申込みは8月14日の日曜日から

開始いたしました。ホームページからウェブ上で質問に回答いただきまして、該当者に受け渡しをしまして、時間を指定した配布といたしました。

検査キットの受渡しは1回の配布で一人2セット、静波保育園駐車場（さざんか駐車場北側）にて、ドライブスルー方式で実施しておりまして、今週月曜日、8月15日に44名、昨日8月16日には、25名に配布をいたしました。本日以降も、1日50名を上限に予約者へ配布していく予定でございます。

検査の結果、陽性となった場合は、検査キットに同封された案内チラシ、QRコードから静岡県「自己検査・療養受付センター」に登録、自主療養していただきまして、また、療養中に症状が悪化した場合は、医療機関へ受診していただくことになります。

検査結果が陰性の場合は検体採取時点でウイルスが体内で検知できなかったことを示しているので、引き続き体調の変化に注意いただきまして、マスクの着用や3密の回避などの基本的な感染対策のお願いをしております。

なお、感染に不安な方で、無症状の方や濃厚接触者に当てはまらないなど、引き続き薬局などの無料検査を利用いただくよう、案内をしております。

併せまして基本的な感染対策の徹底に加えまして、万が一の感染に備えまして、解熱剤などの薬や、食料を多めに備蓄し準備をするよう、市ホームページ、公式LINEなどで呼びかけてまいります。

次に、4点目でございますが、お〜いお茶杯第63期王位戦の当市開催についてであります。

挑戦者の豊島九段の体調不良によりまして、第4局、佐賀県嬉野市での対局が延期になりました。以降の対局が繰り上がりまして、当市での開催が決定いたしました。

現在、第3局を終えまして、藤井聡太王位の2勝1敗という戦局でございまして、8月24日、25日の第4局、徳島県徳島市に続きまして、9月5日、6日、月曜日、火曜日でございますが、当市において第5局として開催されることになりました。

会場準備や昼食、おやつ、大盤解説会の開催など、現在、主催者と調整中でありまして、決定次第、随時市ホームページ、公式LINEなどでお知らせをさせていただきます。

昨日も、この王位戦に関わります実行委員会を開催いたしまして、大盤解説の対応、あるいは前日の会場の視察といたしますか、あるいは前夜祭の関係ですとかというものについて、東京新聞からもお見えをいただいて、詳細な打合せをしたところでございます。

大盤解説等の参加でありますとか、あるいは前夜祭の関係でございまして、そういったものが決定次第、先ほど申しましたように随時お知らせをさせていただきますので、また議会の皆さんにも必要な場での参加依頼をさせていただく予定でございまして、よろしくお願ひいたします。

そして、全国的に注目を集める王位戦の開催でありまして、万全を期してお迎えをしたいというふうに考えております。市議会の皆さんにおかれましても、ご支援いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、今回、この8月24日、25日に藤井聡太五冠が勝ちまして3勝1敗になりますと、牧之原市での対局が決定局になりますので、相当の数の報道が見えられるであろうということで、対局終了後、仮にこの24日、25日が藤井さんが勝ちますと、昨日の実行委員会の中での状況であります。大盤解説会はロビーといいますか、あそこのロビーで行いまして、あと、対局終了後のインタビューの記者会見の場をホールを用意するということがあります。ということで、多くの報道関係者が見えられるのではないかなというふうに思っております。

そして、昼食とおやつの関係であります。今日午後3時から、さざんかにおいて20点ほどご提案いただきましたので、その審査会を行わせていただくという予定であります。

こちらにつきましても、多くのメディアに注目をいただいておりますので、明日の新聞等で報道されると思いますので、また注目をいただければというふうに思います。

私からは、この以上4点でございます。よろしく願いいたします。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

この件について、ご質問、お聞きしたいことがありましたら、よろしく願いいたします。

よろしいですか。

その他でも結構です。どうぞ。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

その他で1件、お願いします。

8月11日ですか、静岡新聞を見ていましたら、「F D A機を「緑茶化」島田の魅力を全国に発信」ということでニュースが載っておりました。それは、島田市のシティプロモーションの一環として、新しく購入したF D Aの緑茶色の飛行機に「地球上でもっとも緑茶を愛する街「島田市緑茶計画」ということで、ロゴマークをティーグリーン色の機体に掲示というようなことなんですけれども、これは島田市さんがやることですので、我々がとやかく本来は言うことではないんですけれども、私はこの記事を見たとき、共に空港を立地として協力して静岡空港を盛り立てていこう、また、我々牧之原市もお茶のことを振興に向けて一生懸命取り組んでいる、島田市さんも同じです。そういったときに、非常にやるせない気持ちになったんですけれども、市長はこれについてどのように感じているか、考えをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

いろいろな発想がされて、いわゆる市の魅力発信といいますか、それぞれの工夫がなされての施策だと思うんですね。これもコロナなり、あるいは経済対策の交付金を活用しての事業だというふうに私は認識しております。

ですので、そういった意味で、島田市さんはよくいろいろお考えになって、いろいろな施策を

講じているなというふう感じた次第でありますし、我々としても、それに負けないことをやっぱりやっていかないといかんと思いますし、ただ、そういう中で、私は常々お茶の振興に關しましては、静岡県内の市町が競い合うということが、確かに競い合うことは必要なんです、やはり一致団結して取り組むということが必要であるというふうには私は認識しておりますしね。

それから、これから海外への展開を考えていくと、産地間の競争では鹿児島と静岡が対立するのではなくて、いわゆる連携をして、そして世界に打って出るということが重要であるというふうには私は思っていますので、そういった意味では、事前にもっとみんなで盛り上げませんかみたいな、そういうことはあってもよかったのかなという気はいたします。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

その一言を聞いて安心いたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

私もこの記事を見て、本当にやるせなかつたです。というのは、静岡空港の早期開港を目指す女性の会を立ち上げ、反対者がたくさんの中で、国土交通省へ要望も行きましたし、近隣女性の皆さんに空港の開港を目指していることを、土木事務所の皆さんと一緒にお願いをし、公聴会でも、本当にやじが飛ぶ中で空港の大切さを言わせていただいた、そういった経緯があります。そのとき、島田市は1番機へ乗る会という、夢のような話をしていました。私たちは、市長もそうだったんですけど、7年間反対地権者のところへ一斉にお願いへ行っているという、その思いがありますよね。そして、反対する方のお茶工場のほうに出向いて、職員が一晩中、お茶の掃除をして、その一番茶を乗り切って、朝になってきれいになっているので、誰がその掃除をしてくれたのかといったときに、その関係の職員たちが一生懸命掃除したって、それで心を開いて話だけは聞こうということになって、そういった空港へつながるような形になって、私、あそこの象徴になっていた小屋を潰すときに、大石哲司県議と私と、それから女性の会のみんなで対峙した、そういった経緯を考えると、本当に情けないなと思いました。なぜ、島田市のほうで、国から1,000万円いただいたこのお金で、少しは、お茶をやっている共に歩んできた牧之原市に何で話がなかったんですかということ副市長さんに聞いていただきました。うちのじゃないよ、向こうの。そうしたら、お茶はあくまでもライバルであると。牧之原市と島田市はライバルである。とてもそんな情報はやれないと。そして、FDAとはかなり、今後いろいろな契約を結んでいるというようなことを言っていたと聞いていて、本当に空港は私たち牧之原市が主になってつくっているのと思って、すごく悲しい思いがしました。

そんな経緯があるものですから、市長はその辺、温かく包んで言ってくださっているんだけど、

私たちの思いはそんな思いであります。

○議長（植田博巳君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も昭和62年12月に、榛原、島田にこの静岡空港が決まって以来、既に35年にわたって空港の事業を、私も自ら空港は9年携わりました。一番大変なときだというふうに私は思っておりますが、設置許可も下りない、地元の反対もあるという中で、いろいろ取り組んできたものですから、私は一番思い入れが私にとってもあるわけですね。そういった意味で、当然先ほど申しましたように、お茶に関しても、私は県内の産地間であっちが勝った、こっちが勝ったとかいうことではないというふうに思っていますので、そういったことも含めて、いろいろな会合とか、お会いするときも含めて、しっかりとそういったことを連携しましょうねということは、私からも語りかけたいと思いますし、それから空港については、今一番厳しいときなんですね。ですので、西村社長をはじめ、FDAに関しましては、僕は本当に頭が下がる思いなんですね。あそこもやっぱりFDAが頑張ってくれているからこそ、静岡空港が今、成り立っていると思いますし、今回のお盆も、お客さんが相当戻ってきているというふうに思います。

私も一つの施策として、修学旅行を空港を使ったら3万円ということに関しましてやらせていただきまして、今回、全ての小中学校の皆さんがこれに加わっていただいたということ、本当にうれしく思いますし、FDAさんからも、相当な感謝の言葉を私もいただいております。

そういう中で、私からは、私たちはこういうことをやるけど、牧之原市はやるけど、皆さん一緒に乗ってくれないと、やらない皆さんもという話は、私は問いかけていますし、県当局に関しましても、高校生の修学旅行、これをもっともっと静岡空港を使っていただいて、北海道や九州や沖縄へぜひ行っていただきたいということを、空港の局長にも申し上げたところでございますので、そういった活動をさらにやっていく中で、双方向の交流もできるといふふうに思いますので、それがインバウンドへもつながってくるというふうに思いますので、そういった意味で、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますし、情報共有も含めてさせていただきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

それこそ今、市長のお話のほうで伺いましたけれども、やはり島田市の市長さんもなかなかの方です。大変いろいろなことに着目してやってくさっているんですけど、やっぱり何となく頭ごなしにされたという感じは否めないんです、私にとって。ですから、やはり情報共有なんかもかなりしっかりとした中でやっていっていただきたいなという思いが強いです。よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（植田博巳君）

石山委員。

○1番（石山和生君）

今の話、私も実は読んでいて、思うところがあったんですが、島田はちゃんと観光戦略を持っているのが一番大きいと思います。ちゃんと静岡空港をせっかく持ってきたのに、それをあっちはちゃんと使った、牧之原市は使えていないというのが、そういう現状があるんだと。デジタルサイネージで数分しか出ていない。牧之原市のウェルカムボードとかもないですけれども、牧之原市としてどうやって空港を使っていくのかというのは、皆さんおっしゃっているとおり、せっかくあるんだから、これをどう生かすかというのは、今後も考えていかなきゃいけないきっかけなのかなと思いました。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

そのご指摘は当然でありますので、さらに空港利活用の促進を図りつつ、市の経済発展や地域の発展、そして市民の機運の醸成を含めて図ってまいり所存でありますので、よろしくお願いたします。

○議長（植田博巳君）

よろしいですか。

私から一点お願いしたいと思うんですけど、お〜い茶杯王位戦なんですけれども、これは絶好の牧之原市の魅力を発信するための契機だと思います。これを機にシティプロモーションをちゃんとやっていただいて、今お話があったお茶、あるいは海、牧之原市のいいところを、ぜひシティプロモーションとして発信していただきたいなと思いますけど、いかがでしょうか。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も、今回この決定を受けまして、担当課長を含め、部長等に対しまして、再度おもてなしに対しまして、対応に対しまして、全庁体制で臨んで、しっかりとおもてなしができる、そして、今、議長からご指摘いただいた、最大のシティプロモーションでありますので、どこの課がということではなくて、全ての関係の職員が一丸となって全庁体制で取り組むように指示をさせていただいたところがございますので、議会の皆さんにおかれましても、いろいろなまたご支援、ご指導をいただけるとありがたいなと思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（植田博巳君）

これで市長報告を終わりたいと思います。

ここで10時まで休憩をいたしたいと思います。

[午前 9時46分 休憩]

[午前 9時55分 再開]

○議長（植田博巳君）

休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

3番の、議長・関係議員・委員会報告を行います。

（1）の会議等の結果報告をお願いいたします。

すみません、まず最初に私のほうから報告をさせていただきます。

7月19日ですけれども、坂口谷川水門建設促進期成同盟会ということで、島田土木と県の交通基盤部に要望活動を行っております。

出席は、牧之原市長、私、副議長、総務建設委員長、それから吉田町長と吉田町の議長、副議長、産業建設常任委員会委員長ということで、出向いて要望してきております。

予算も確保ができて、今現在工事をやっております。あと、電気設備などを3件発注して、予定どおり令和5年度には完成するというようなお話を伺っております。

次に、7月21日、令和4年度の第1回静岡県原子力発電所環境安全協議会本会議に出席してまいりました。知事の挨拶の後、議事が行われまして、令和3年度の事業実績報告及び収支決算報告、令和4年度の事業計画、収支予算が提出され、可決しております。そして、浜岡原子力発電所の現況報告もございました。

7月29日、令和4年度の富士山静岡空港アクセス道路等建設促進期成同盟会に出席してまいりました。私と副議長、総務建設委員長と副市長の4名で行ってまいりました。

内容は、令和3年度の事業報告、収入歳出決算報告、令和4年度の事業計画、歳入歳出予算ということで、全てこれについては可決されております。

牧之原市関連といたしまして、吉田大東線南原工区の島田市分の400メートルは令和4年度に完成すると。牧之原市分の1.8キロメートルは令和4年度が、用地の8割を契約しております。令和6年度に全て買収を予定ということでございます。

次に、8月4日、令和4年度の東遠工業用水道企業団全員協議会、議会に私と副議長で出席してまいりました。議案としましては、令和3年度の会計決算の認定、それから給水状況としましては、事業者数が16者ということで、日量8,015㎥を供給したということで、前年と同じです。

報告第1号として、資金不足比率の報告がございまして、不足率はマイナスであり、資金は不足していないということでございました。

8月8日、教育講演会がい〜らで行われました。牧之原小中の実践発表がございました。そして、広島県府中市立府中学園前校長によります、池田哲哉氏の講演、「府中学園のあゆみ ―義務教育学校の可能性を求めて―」という内容について、講演がございました。出席していただきました議員の皆様、ありがとうございました。

以上でございます。

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

7月21日ですけれども、例月現金出納検査を行いました。その後、決算審査を行いました。

この日は、市長挨拶から始まりまして、会計管理者の概要説明を受けました。その後、会計課、その後、坂部財産区につきましては正副議長の出席を求め、決算審査を行いました。その後、総務部の各課を対象に決算審査を行いました。

翌日の7月22日ですけれども、企画政策部の各課、それから市民生活部各課、福祉こども部各課、それから建設部の水道課について決算審査を行いました。

7月26日につきましては、例月現金出納検査と書いてありますけれども、これはありません。

7月26日の決算審査ですけれども、健康推進部の各課、それから企画政策部の財政課を対象に決算審査を行いました。

それから、7月27日ですけれども、決算審査についてですけれども、市民生活部の環境課を対象に行いました。その後、建設部の各課、それから教育文化部の各課を対象に決算審査を行いました。

それから、7月28日につきましては、産業経済部の各課、それから議会事務局、それから最後に監査委員事務局の決算審査を行いました。また、これにつきましては市議会9月定例会初日に代表監査委員のほうから結果の説明がございますので、よろしくお願いたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

種茂議員。

○8番（種茂和男君）

7月27日ですけど、御前崎市牧之原市学校組合、御牧の学校組合の決算審査のほうへ行きました、その審査対象となる案件は5件ありまして、令和3年度御前崎市牧之原市学校組合一般会計歳入歳出決算書の件。第2として、令和3年度学校組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書。3として、令和3年度学校組合会計実質収支に関する調書。4として、令和3年度学校組合会計財産に関する調書。5として、令和3年度学校組合会計主要な施設の成果説明書等、当日無事審査終了いたしました。

それと、8月4日ですけど、これは石山議員と一緒に、東遠広域施設組合議会定例会のほうへ出席いたしまして、議案として二つありまして、令和4年度東遠広域施設組合一般会計予算の補正。もう一件は、令和3年度東遠広域施設組合一般会計歳入歳出決算の案件が出まして、無事意見のほうを通過したということで、終了いたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

副議長。

○15番（村田博英君）

7月27日ですが、榛原総合病院の令和3年度一般会計及び病院事業会計決算審査。それから、令和4年6月30日現在の一般会計及び病院事業会計の現金出納の状況を監査いたしました。いずれも過誤なく終了いたしました。

報告事項というか、全体的に電気代が上がっているというのと、それはじわじわと効いてきているわけですが、そういう状況にあるということと、それからコロナで大分外来が賑わっているとか、いっぱいになっているという状況です。企業債150億円、ピークでありましたけど、半分以下になりまして、六十数億に今なっております。もうちょっといくと大分楽になるかなという状況でございます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会運営委員会から、お願いいたします。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。

8月5日ですけれども、まず9月定例会ということで、資料1をご覧ください。

議案ですけれども、提出議案が21件ということで、報告1件、承認1件、認定が6件、議案が13件ということになります。そのうち、議決が承認第3号と議案第38号と第39号は9月9日に議決をお願いしたいということです。残りのものにつきましては、9月30日に議決ということになります。詳細のほうは、資料のほうを後ほどご覧ください。

そして、資料の2をご覧ください。

これは決算連合審査会の日程ですけれども、このように決定をいたしましたので、よろしくお願いをいたします。

次に、令和4年度の議会報告会についてということで、資料3をご覧ください。

議会報告会は、開催の日時ですけれども、10月24日、夜の7時から8時30分までということで、それと27日という、2会場で行います。開催会場のほうにつきましては、細江コミュニティセンターということで、これは10月24日でございます。それから、牧之原市史料館ということで、これは10月27日に実施をするということでもあります。

それから、報告内容につきましてですけれども、2部構成ということで、まず1部に関しては、決算審査と常任委員会の活動報告ということで行っていきたいと考えております。

2部につきましては、グループでのワークショップ形式によつての意見交換ということになり

ます。

そして、アということで時間配分ということですが、1部につきましては、おおむね30分ということを目安とし、2部につきましては1時間ということを目安いたします。

イとしまして、テーマにつきましては、それぞれの所管事務調査、常任委員会の所管事務調査のテーマとして、各常任委員会で決めていただきたいと思います。そのようにお願いをしたいと思います。

次に、ウのワークショップ時の会場の形式と、エのワークショップの進め方については、これは専門であります濱崎議員に一任をしておるところでありますけれども、概略をここで少しご説明願えたらと思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（植田博巳君）

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

それでは、ワークショップの概略を私のほうから説明させていただきます。

今回、テーマに関しては常任委員会、所管事務調査のテーマということでさせていただきました。なぜこれにしたかということなんですけれども、目的としては、常任委員会の政策提言に市民の意見を反させていくために、ワークショップ形式で意見交換を行うということで、それぞれの常任委員会で行っている市民会議の拡大版だという感じでイメージしていただければと思います。

このことによって、翌年の議会報告会で、昨年の市民会議の成果が政策提言にどのように反映されたかということが市民の皆さんに説明できるこの形式がいいかなというところがございます。

そのため、第1部のほうの常任委員会の報告では、所管事務調査の取組状況などを説明していただきたいということ、それぞれの委員会で取り組んでいるテーマなどの課題や問題点などの中間報告をお願いしたというところがございます。

事前にこれをやっていただくことによって、ワークショップのほうにスムーズに入っていけるかなというところがございます。

テーマなんですけれども、時間の関係もあるものですから、各常任委員会、一つのテーマに絞っていただきたいというところで、できるだけ具体的なテーマがいいかなというところがございます。

それから、時間が60分ということになりますので、各会場ということなんですけど、榛原会場、相良会場共に一つのテーマしかできませんので、仮ですけれども、榛原会場で文教厚生委員会のテーマをやって、相良会場で総務建設委員会のテーマを取り扱うという、そんなイメージを持っていただければと思います。

それぞれの会場で、ワークショップに関しては、今言ったように、一つの会場で一つの常任委員会のテーマという形になりますので、それぞれで片方の委員会のテーマしか取り扱わないことになってしまうものですから、それぞれの会場で、アイスブレイクでワークショップのテーマを

取り扱わない委員会のものに関して、かみ砕いた形でアイスブレイクをやって、市民の皆さんから意見をいただきたいなというところで考えております。

これに関しては、事前に研修とか、準備が必要かなというところがございます。

あと、役割的なものとかというのは、後で出てくるかなと思いますので、それは割愛をします。

人数は、大体60名から70名くらいを想定しておりますので、各議会報告会では、各地区に依頼する際に人数制限をしていただくと、人数を何名お願いしますという形でお願ひするという形になるかと思ひます。

それからあと、この常任委員会のテーマを取り扱うということになりますので、これまでどおりの各地区からの役員さんだけではなくて、いろいろな関係する団体、例えば子育て支援の団体だとか、商工会さんだとか、活性化センターとか、いろいろなところに声かけをしていただいて、あと、小中学校のPTAの方とか、そういった形で意見交換をできるかなというふうに考えております。

いずれにしても、人数制限を、人数を把握していかないと、このワークショップ自体が大変になってきますので、人数が増えれば増えるほど、皆さんに各テーブルに入っただいて、テーブルファシリテーターをやっていただく形になるものですから、取りまとめが非常に大変になってきますので、各テーブル、6、7名くらいまでに抑えたいなというところで考えております。

皆さんが1名入って、市民の方が6名、7名入るかなというところ。なので、それを意見をまとめていかないといけないものですから、皆さんにもご協力をいただきたいというところがございます。

内容的には以上です。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

ありがとうございました。ということで、全議員がワークショップに関わりますので、後日、詳細は検討することになります。

報告内容は以上のところで、4のところへいきます。Webによる配信ということで、配信内容は会場での報告と同じにするということで、これは決めていかなければいけないんですけども、作成と編集、それから配信時間、約20分程度を考えてはいるんですけども、そして会場で撮影したものを編集するか、この辺をどうするのかということもこれから検討していかなければなりません。そんなことであります。

それから、5としまして、周知方法でありますけれども、まず自治会の行政連絡会が9月8日にありますので、それまでにチラシの作成をしなければならないということで、ここにも書いてありますけれども、提出期限が8月29日ということでありますので、それまでに作成をしなければならないということでありますので、各常任委員会のテーマも含めて、細かなことも各常任委員会で決めていただかなければならないというふうに思ひます。

それから、この周知方法としまして、さらに各種団体や商工会への周知もしていきたいということで、これもどのように周知していくかということも具体的にしていかなければならないということなのです。

それから、(2)ということで、定例記者懇談会ということで、9月29日にあります。これで議会報告会のことについても情報提供するというので、その次に(3)として議会ホームページ、市議会のフェイスブック、それから広報まきのはらで周知をしていくという方法を取りたいと考えております。

6番の班編制でありますけれども、委員会活動報告ですけれども、これは各常任委員会で報告をするということです。繰り返しますけれども、テーマを決めていただきまして、お願いをしたいと思います。そして、さらに各常任委員会の中で、それぞれの担当を決めていただいてほしいということでもありますので、担当のほうは早めに選出をお願いしたいというふうに思いますので、各常任委員会のほうでよろしくをお願いをしたいと思います。

それから、Webで配信するというので、これを作成しなければなりませんけれども、議員でこれを作成していかなければならないということで、この担当も決めていくということになるかと思っておりますので、早急にこの辺のところも詰めていきたいと考えております。

会場で全員が一人1回は発言できる場を設けるという形で進めていきたいと考えますし、先ほども言いましたけれども、ワークショップは全員が参加するというのでやっています。それから、ファシリテーターは、先ほどの濱崎議員をお願いをいたしまして、サブのファシリテーターを加藤議員が、いちお名前が挙がっておりますけれども、もう一名お願いをしたいということで、決めていただきたいと思います。

ざっと議会報告会については以上であります。

○議長（植田博巳君）

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

補足でお願いしたいんですけれども、役割の部分で、それぞれの資料のまとめをお願いしたいものですから、各会場2名ずつということで、各委員会から2名出していただきたいと思いますということで、これはワークショップのまとめと、あとアイスブレイクのまとめということで、意見の取りまとめですね、それをお願いしたいということで付け加えておきます。あと、全員の皆さんにはテーブルファシリテーターということで、当日お願いしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

ありがとうございました。

そして、次に移ります。ウとしまして、議会防災訓練、9月4日でありますけれども、これに

については、5のその他の（2）のところでやりますので、ここでは省きます。

そして、エのその他ということで、令和3年度議会費の決算状況ということで、これは事務局のほうからお願いをいたします。

○議長（植田博巳君）

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、私のほうから令和3年度議会費の決算状況について、報告します。

監査委員による令和3年度決算審査が7月28日にありました。議会費、予算額1億4,401万7,000円。支出済額、1億3,797万1,197円。予算に対する執行率は95.80%となります。議会の改選に伴い、職員期末手当において支給率に違いが生じたこと、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会議、研修、視察等の開催自粛が続き、報償金、費用弁償、負担金の支出が少なかったことを説明しました。

監査委員からは、特に指摘事項はありませんでした。

令和3年度議会費の決算状況の詳細につきましては、8月25日の木曜日、常任委員会合同協議会及び第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会にて議案の配布がされますので、議案配布後に時間を少しいただきまして、私のほうから改めて皆さんに説明をいたします。

以上です。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

ありがとうございました。

引き続きまして、本日ですけれども、17日です。議会勉強会についてということで、臨時の議運を開きました。このことにつきましても、5のその他の（1）のところで報告させていただきます。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 （3） 総務建設委員会

○議長（植田博巳君）

続きまして、総務建設委員会、お願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

総務建設委員会の報告をいたします。

7月19日に、8月1日から3日まで予定しておりました九州方面への委員会視察については、コロナ感染症の拡大ということで、非常に残念ではありましたが、全議員合意の上で延期ということで決定をいたしました。

7月22日に、市内の海岸視察を、現地視察を行いました。静波海岸及び相良海岸の砂浜の浸食の状況、レベル1津波対策施設整備状況について。また、静波、相良それぞれの海水浴場の開設状況の視察、それと、相良海岸西側にあります、もう取壊ししてありますけれども、旧海浜体育館の跡地、また、元牧之原市商工会のまだ建物が建っておりますけれども、市有地の状況視察を行いました。

8月3日に、9月の議会終了後をめどに提出を予定しております総務建設委員会としての提言書について、今後どのようなスケジュールで取りまとめに入るか、確認をしまして、それぞれの委員が今までに調査研究を進めていく中で考えた提言について、それぞれまとめて提出をするように確認をいたしました。

8月9日に、それぞれの委員から提出していきました提言の案について、各委員から報告の説明をしていただきました。今後は、それを取りまとめまして、9月定例会終了後になるかと思っておりますけれども、提言の提出に向かいます、取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （4） 文教厚生委員会

○議長（植田博巳君）

続きまして、文教厚生委員会、お願いいたします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

文教厚生委員会から、報告させていただきます。

7月19日、コロナの感染拡大のため、8月1日から行政視察を予定しておりましたけれども、皆様に意見を伺いまして、現在の状況ではということで、中止とさせていただくことになりました。

8月9日に、今後の所管事務調査の進め方について、私どもは二つ、人口増加につながる魅力ある子育て施策と、高齢化社会対策についてを2年間でということでございましたけれども、コロナの関係で、高齢者と子供たちが共に活動しているところが現在ないということで、今年度は高齢者の関係について提言書を提出させていただき、引き続き人口増加につながる魅力ある子育てにつきましては、さらに皆さんで調査していくということになりましたので、報告させていただきます。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 （5） 議会広報特別委員会

○議長（植田博巳君）

議会広報特別委員会をお願いします。

原口議員。

○10番（原口康之君）

議会広報特別委員会です。

議会広報特別委員会、7月25日に8月15日に向けた牧之原市議会だより「かけはし」の発行に向けて最終確認をいたしました。

そして、8月3日、これには載っていないんですけど、正副で最終確認を行っております。

皆様方には、状差しのほうに8月15日の発行されておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告（6） 議会改革特別委員会

○議長（植田博巳君）

議会改革特別委員会、お願いします。

村田副議長。

○15番（村田博英君）

議会改革特別委員会です。

全協の後やってまいりました議会改革特別委員会ですが、本日の特別委員会は、この後、総合計画に関する特別委員会がございますので、それはデッドが決まっておりますので、それを優先するというので、今回は議会改革特別委員会は延期といたします。

A班、B班、分かれてずっとやってまいりましたが、まだ途中でございますので、引き続き、まとめに向かって進めたいと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告（7） 第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に、第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会、お願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

総合計画特別委員会の報告をいたします。

6月議会で特別委員会の設置が決まり、設置後、6月23日に第1回を行いまして、本日、全員協議会終了後に、第7回を開催させていただきます。

予定されております9月議会での基本構想の議案上程に合わせて、皆様のご協力により、大変過密のスケジュールで進めてきましたが、前回の第6回の委員会で皆さんに確認をしていただきました意見について、当局に提出を既にしておりますけれども、本日、その意見の回答をして

いただくようになっております。併せて本日は、パブリックコメントの結果についても報告がありますので、よろしく申し上げます。

それと、いよいよ9月議会も迫っておりますので、当局側の議案の準備もございますので、今日の特別委員会を当局との事前のやり取りは最終にしたいと思っておりますので、当局のほうの回答をよく聞いていただいて、意見があれば、今日の段階で終結するような形でお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

よろしく願いいたします。

4 協議事項

○議長（植田博巳君）

次に、協議事項に入ります。

協議事項はございません。

5 その他 （1） 議員勉強会について

○議長（植田博巳君）

5番のその他、議員勉強会についてを報告していきたいと思っております。

事務局より説明をお願いいたします。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

議員勉強会なんですけれども、日時のほうが8月25日、木曜日、13時から14時。場所につきましては、こちらの大会議室。内容につきましては、一つ目に浜岡原子力発電所の状況について。二つ目に、今夏の需給見通しについて。三つ目に、まだ仮のタイトルですけれども、燃料価格の高騰による影響等について。

説明者につきましては、1番につきましては、中部電力株式会社浜岡地域事務所の生田様。2番につきましては、中部電力パワーグリッド島田営業所の所長の山本様。3番につきましては、中部電力ミライズ静岡営業本部の部長代理の高橋様にお願いをする予定です。

対象につきましては、議員の皆様全員。それと、当局側も部長、課長職に声をかけようと思っております。

当日は、タブレットを使用する勉強会になりますので、タブレット端末のご持参をお願いします。

それと、こちらの情報につきましては、報道提供をさせていただく予定です。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

この件について、何かご質問ある方は、いらっしゃいますか。

〔「なし」と言う者あり〕

ないようですので、次にいきます。

5 その他 (2) 議会防災訓練(9/4総合防災訓練)について

○議長(植田博巳君)

次に、(2)の議会防災訓練ということで、事務局、説明をお願いいたします。

事務局次長。

○事務局次長(本杉裕之君)

それでは、資料4をお開きください。

令和4年度牧之原市議会防災訓練ということで、目的から訓練当日のスケジュール等示してあります。

それで、4番の訓練項目なんですけれども、皆さんには、タブレット端末、LINE WORKSを使用した訓練の実施を考えております。

①で安否の報告。②に、本部長・副本部長は相良庁舎4階へ登庁。③にほかの議員の皆様は各自防災拠点へ移動し、到着後に活動場所の報告。④に、全議員間におけるビデオ通話訓練の実施。⑤に、活動拠点から各議員によるコメントや写真の送信訓練の実施。

それと、各自主防災の拠点での活動が終わりましてところで、今年につきましては、この間も協議会で説明ありましたけれども、静岡県、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町の総合防災訓練が開催されますので、その視察ということで、そちらをしていただければと思います。視察の実施及び会場の選択につきましては、各議員さんの判断によることとさせていただきます。

5番の訓練スケジュールのほうに、今説明したところの動きを、時間とともに書かせてもらっています。訓練開始時間は8時に地震発生のサイレンが鳴ります。そこからスタートになります。それで、一番右の訓練内容のところを見ていただきまして、皆さんにはそちらの報告をしていただきます。終了につきましては、11時50分頃、正午を目安に終わる形になります。

開催日につきましては、9月4日、日曜日となります。

4ページ目を見ていただきまして、4ページ、5ページ目に、この静岡県と2市2町の合同の防災訓練の訓練概要の一覧ということで、牧之原市の会場でやる訓練が書かれております。

それで、メイン会場としましては、静波体育館、静波グラウンド、地頭方漁港、それと次のページへいきまして、御前崎中学校。こちらがメインの会場になります。

それと、訓練項目の時間帯なんですけれども、一番最後のところに、タイムテーブルということで、各訓練が何時頃にやるというのが示されております。

こちらを見ていただきまして、当日、どこの訓練を視察に行こうかというのはご自分で決めていただいて、移動も各自でしてもらおう形になります。

それで、御前崎中学校につきましては、駐車場が中学校のところでありあまり広く取っていないと
のことですので、乗り合わせで行って中学校で降ろして、一人の方につきましては、ジーボとか
集荷場、その辺を駐車場に使うってほしいということでは、ちょっと歩く形には
なりませんけれども、御前崎中学校につきましては駐車場を気をつけていただきたいと
思います。

それと、このそれぞれの訓練の細かな、どんな訓練をやるのかというものにつきましては、サ
イドブックの議会フォルダの研修視察の議会防災訓練、総合防災訓練 9月R4.9.4のところ
に個票を入れさせてもらっていますので、そちらを見ていただきますと、この訓練がどう
いった訓練をやるかという詳細が書かれていますので、そちらもご覧になりながら、
視察先を決めていただければと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

この件について、何か聞きたいことはございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

よろしいですか。

**5 その他 （3） 「三遠南信、浜松湖西豊橋道路建設促進議員協議会」の参画同意
について**

○議長（植田博巳君）

それでは次に（3）の「三遠南信、浜松湖西豊橋道路建設促進議員協議会」の参画同意
について、事務局、説明願います。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、資料5をお開きください。

こちらの三遠南信、浜松湖西豊橋道路建設促進議員協議会につきましては、昨年、豊橋市で開
催されました総会におきまして、名称が変わっております。それまでは、三遠南信、浜松三ヶ
日・豊橋道路建設促進議員協議会でしたけれども、昨年からは、これが三遠南信、浜松湖西豊橋道
路建設促進議員協議会と名称が変わっております。

それで、こちらの協議会の規約が、3ページ目をお開きください。3ページ目に規約がありま
して、目的としましては、三遠南信、浜松湖西豊橋道路の早期建設を強力に促進し、関係地域の
振興発展と住民福祉の向上のために積極的な活動を行うことを目的とされております。

所掌事項ですけれども、第3条のところに書いてありますように、建設促進のための調査研究、
関係機関への陳情、あと、三遠南信、浜松湖西豊橋道路の早期建設を促進するために必要な事業
となっております。

こちらの協議会ですけれども、東三河、遠州、南信州地域の市町村議会の議員をもって構成さ

れることとなります。

これは以前からありまして、動いている中で、この時期に参画同意書へ、協議会の趣旨に賛同していただける議員名を記載して提出する形となります。

それで、次のページから、愛知県の東三河地域の議員の名簿であるとか、南信州地域の議員さんの名簿、遠州地域では浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、牧之原市、菊川市、森町という形で、賛同できる議員さんの名簿を出すような形となっております。

新規の議員さんにつきましては、昨年この時期でしたので、今回、こちらの説明をもって初めての形になりますけれども、今日この場で賛同していただけるというような形で同意が得られれば、賛同していただける議員さんの名簿をこちらのほうで提出します。

総会につきましては、三遠南信サミット、10月24日の長野県飯田市にて開催されますので、こちらは議長の方が出席するような形となります。

議長、全員賛同していただけるかどうかの確認をお願いします。

○議長（植田博巳君）

今、事務局次長から説明がございましたけれども、これまで全員参加ということで賛同していただいて、ぜひ、この東遠の一番東側ですけれども、そこができれば、こちらのほうにも活性化の影響があるということで賛同しておりますので、皆さん、よろしいでしょうか。ぜひ賛同していただきたいと思えます。

昨年15名になっておりますけれども、これは名波喜久さんがお亡くなりになったということで15人になっておりますので、16人、全員ということで、よろしく願いいたします。

以上です。

ありがとうございます。

以上で、今日の全員協議会の協議及び報告事項は終了いたしました。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

一点、その他で。

一つ、私が思うところなんですけれども、今日冒頭、市長から、今回コロナに感染したということで、報告がありました。それで、私、非常に市の危機管理上、市長の行動って、非常に今回重いものがあつたなと思えます。それは、危機管理上、やはり正副市長が13人の中へ参加していて、結果的には報告されていないですけれども、10人くらいかかってしまったということのようです、実際には。そういったことで、先ほど私意見としても言いましたけど、市長メッセージがわざわざ、いま一度、基本的な感染防止対策の徹底をお願いしますというようなことで出してあるにもかかわらず、市長の行動というのが、これに反するようなものだと思うんです。ですから、議会としても、その申入れを私は危機管理上、今回、台風がきて、たまたまこっちは直撃しなかったからよかったんですけれども、もしものときにどうするんだという、そんなことも思うとき、要請をいま一度、危機管理についてしっかり考えていただきたいというようなことで、議会とし

て出す必要があるかなと私は思ったんですけども、議長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（植田博巳君）

先ほど市長のほうから、いろいろ今までの中身について危機管理がちょっと配慮がなかったというようなお話もありますし、今後、危機管理意識を持ってしっかり努めてまいりますというようなご回答、発言がございましたので、それをもっていいのかなと、それを全員協議会の議員の場で、お話しされたので、それに代わればいいのかなどというふうには思いますけれど、皆さんはどう思いますか。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

私、特に今回、市長、副市長は、副市長も前回の報告と基本的には変わらない報告ということで、個人的には少しがっかりしているんです。それで、市長、副市長がどう考えるかというのは、これはトップの考えなんですけど、それによって、組織がそれに沿った、先ほども言ったんですけど、考え方で動かなければならない。そのときにとんでもない危機管理の考え方って、組織の影響が大きいと思うんです。だから、それを考えると、私は市長が、今日ね、それは言葉では言うしかないと思うんです。ただ、職員は見ていますからね、議会を。議会がどのように今回、そのことについて対峙したかということ、やはり見ていると思うものですから、そういった意味でも、ここはやはり、議会ってそれが努めだと思うんです。間違った方向へ行っているなと感じたら、そこをしっかりと正すことがね。だからそういう意味で言ったんですけど、議長がそういうお考えなら、それはそれで結構ですけど。

○議長（植田博巳君）

全員協議会という場で、市長自ら反省と今後の危機管理、コロナだけではないと思うんですね。災害の計画書というのが、市のほうでちゃんとできていると思いますけれども、そこには危機管理上の順列とか、いろいろなことが書かれていると思います。今回、コロナを契機にしてこういう話が出ましたけれども、コロナ以外にも、先ほどありましたような風水害等、地震もあります。そういった中で、やはり真剣に危機管理意識を持ってやっていただくことが市民の安心安全を左右される市長の立場だというのは十分理解しております。全員協議会という場で、釈明と今後の方針を報告されたので、それをもって対応したいなというふうに思っておりますけれども、これについては皆さんはご意見があったら、お願いいたします。

〔「なし」と言う者あり〕

一応、そのような対応でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

では、そういうことで、私のほうからも最後に危機管理のことについて申入れしましたので、それをもって、今回。次の機会、次のそういうようなことがあった時には。

○12番（太田佳晴君）

次の機会があつては困るから言っているだけです。いいです、それでいいです。

○議長（植田博巳君）

そういうことで、お願いいたします。

では、そのような形で対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

25日、26日に予定しております総務建設委員会合同協議会ですけれども、26日のほうが案件が2件なので、25日に全てやりたいと思いますので、お願いいたします。それに伴いまして、総務建設委員会ですけれども、予定しております市単独事業の現地視察を26日の9時に集合で行いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

以上、総務建設委員長からお話がありました内容、よろしいですね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

ありがとうございました。

それでは、ほかはございませんよね。

それではこれで、議員全員協議会を閉じたいと思います。お疲れさまでした。

〔午前 10時43分 閉会〕